

令和6年度 県政運営の基本的考え方（案）

コロナ禍を経て社会経済活動の正常化が進むとともに、デジタル等の技術革新が急速に進展し、人々の暮らしや働き方に関する価値観も多様化するなど、時代は大きく動いている。一方で、足元では、少子高齢化を伴う人口減少の加速や物価高騰の長期化、さらには気候変動や自然災害の頻発・激甚化などが、県民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしている。こうした中、第4次山形県総合発展計画を踏まえ、足元の課題への対応はもとより、未来を見据え、安全・安心を土台に、県民誰もが個性や能力を発揮でき、将来にわたり地域の活力が持続する県づくりを力強く推進する。

第4次山形県総合発展計画（政策の柱）

- 1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保
- 2 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
- 3 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
- 4 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
- 5 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

計画の
推進

SDGsの
実現に
貢献

本県を取り巻く情勢

- 少子高齢化を伴う人口減少の加速、若者・女性の県外転出
- 国際情勢を受けた物価高騰の長期化
- あらゆる産業分野における深刻な人手不足
- デジタル化の加速、生成AI等の技術革新の急速な進展
- 地方移住への関心の高まり、多様な働き方・暮らし方の普及
- 観光の入込、街中の人出、飲食・レジャー等の個人消費の回復
- 気候変動の加速、自然災害の頻発・激甚化による防災力向上の必要性の高まり
- 社会経済の持続可能性、多様性を尊重する機運の高まり

依然として残る新型コロナの影響等

- ・ 社会経済の影響を強く受けやすいひとり親家庭等の所得減少
- ・ 自粛生活の長期化による高齢者等の体力低下
- ・ 感染再拡大、新興感染症の発生への懸念
- ・ インバウンドは回復傾向にあるが、未だコロナ禍前に及ばない状況

政府の政策動向

～新しい資本主義の加速、デジタル田園都市国家構想の推進～

- ・ 構造的賃上げの実現と「人への投資」の強化、分厚い中間層の形成
- ・ 少子化対策・こども政策の抜本強化
- ・ 投資の拡大と経済社会改革の実行（GX、DX等の加速、インバウンド戦略の展開等）
- ・ 包摂社会の実現（女性活躍、共生・共助社会づくり、孤独・孤立対策）
- ・ 地域・中小企業の活性化（関係人口の拡大、中堅・中小企業の活力向上等）
- ・ 防災・減災、国土強靭化、国土全体での連結強化

※ 当面の経済財政運営・令和6年度予算編成に向けては、物価や経済の動向を踏まえ今後も機動的に対応

施策展開の主な方向性、重視するポイント

1 第4次山形県総合発展計画実施計画の目標達成に向けた取組みの強化

現行の実施計画が令和6年度に終期を迎えることを踏まえ、目標指標等の進捗に遅れが見られる政策分野を中心に、新型コロナの影響も含め、しっかりその要因分析を行ったうえで効果的な取組みを推進

2 県民生活・地域経済へ影響を及ぼす喫緊の課題への対応

未だ残る新型コロナの影響や物価高騰の長期化、人手不足や賃上げの動きなど、県民生活・地域経済へ影響を及ぼす喫緊の課題について、政府の動向も踏まえつつ、迅速・的確に対応

- ・ 物価高騰の影響が特に深刻な生活者や事業者への支援
- ・ 生産性向上、人材確保
- ・ 医療提供体制の確保

3 未来志向の県づくりの推進

★施策展開にあたっての基本姿勢

- (1) 持続可能な地域社会の形成に向け、**全ての施策の前提として、「人口減少への対応（抑制、適応）」を意識**
- (2) 変化の大きい時代にあって、**時代の潮流や新技術等を活かした「チャレンジ」「変革」を積極的に展開**
- (3) 施策効果をより高めるため、他分野も含め、**「施策間の連携・連鎖」を強化**
併せて、市町村をはじめ、県民、NPO、企業、大学等、**「多様な主体との連携」を加速**

① 県民の安全・安心な暮らしの確保 ～ 県民の暮らしを守り、支える基盤の強化 ～

- ・ 生活利便性向上のためのデジタル技術の活用
- ・ 貧困や孤独・孤立等の問題への社会全体での対応
- ・ 地域公共交通の維持確保・利便性向上
- ・ 人材確保を含む持続可能な保健・医療・福祉提供体制の確立
- ・ ハード・ソフト両面からの治水対策や土砂災害対策等の県土強靭化の推進、交通安全対策の推進
- ・ カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの推進
- ・ 社会インフラ等の効率的・効果的な更新・整備等の推進

② 県民一人ひとりの希望の実現・総活躍の促進 ～ 山形暮らしの魅力向上、人づくりの強化 ～

- ・ 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える総合的な少子化対策の推進
- ・ 質の高い教育の推進、子どもの頃からの郷土への理解や愛着の更なる醸成
- ・ 若者や女性の志を踏まえた魅力ある仕事・職場づくり
- ・ 県民の地域や産業での活躍促進に向けたリスティング等の学び直しの機会の充実
- ・ 性別、年齢、障がいの有無、国籍及び性的指向・性自認等に関わらず個性や能力が発揮できる社会の形成
- ・ 健康寿命延伸に向けた取組みの強化
- ・ 文化芸術・スポーツに親しむ機会等の充実

③ 産業・企業の活性化と未来を見据えた成長力の強化 ～ 産業イノベーションの加速 ～

- ・ 生産性向上、高付加価値化に向けたDXの推進
- ・ 産学官民連携によるオープンイノベーションの促進
- ・ デジタル技術を活かした、若者が主体となるスタートアップ、ソーシャルビジネス創出支援の強化
- ・ 付加価値の高い観光地域づくりの推進、本県の魅力発信の強化等によるインバウンド誘客の促進
- ・ 環境と調和のとれた農林水産業の推進と経営基盤の強化
- ・ 洋上風力発電等の再生可能エネルギーの導入拡大、水素エネルギー等の利活用の推進、「森林ノミクス」の推進などによる、経済と環境の好循環を創出するGXの推進
- ・ 東北農林専門職大学をはじめとする教育機関と連携した各分野における人材育成・確保
- ・ 副業・兼業等の多様な人材の活躍促進

④ 地域に活力をもたらす国内外との交流の拡大 ～ 人の流れの加速、交流基盤の強化 ～

- ・ 若い世代をターゲットとした移住・定住施策の推進
- ・ 地域の活性化につながる関係人口の創出・拡大
- ・ 外国人材の受入拡大・定着促進
- ・ 国際感覚を有する人材育成の推進
- ・ グローバルな商業活動を支援する国際交流活動の推進
- ・ 付加価値の高い観光地域づくりの推進、本県の魅力発信の強化等によるインバウンド誘客の促進（再掲）
- ・ 交流を支える交通ネットワークの充実強化

第4次山形県
総合発展計画の
基本目標

人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさや幸せを実感できる山形

施策展開の主な方向性に基づく取組みの例

1 第4次山形県総合発展計画実施計画の目標達成に向けた取組みの強化

①「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の目標指標が策定時の数値を下回っている項目（主なもの）

- ・ 農業者当たり産出額 ・ 経営体当たり海面漁業生産額
- ・ 製造業従事者一人当たり付加価値額 ・ 製造業付加価値額 ・ 観光消費額

②「第4次山形県総合発展計画 実施計画」の重要業績評価指標（KPI）が策定時の数値を下回っている項目（主なもの）

- ・ 外国人留学生の県内受入数 ・ 県産農産物の輸出額
- ・ 観光者数 ・ 外国人旅行者受入数
- ・ 障がい者実雇用率の全国順位 ・ 山形・庄内空港の定期便搭乗者数

2 県民生活・地域経済へ影響を及ぼす喫緊の課題への対応

喫緊の課題

◆新型コロナの影響 ◆物価高騰の長期化 ◆人手不足・賃上げの動き

- ・ エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響が特に深刻な生活者や事業者を引き続き支援
- ・ 企業等の生産性向上に向けて、DXを推進するデジタル技術・設備の導入や高付加価値化による収益力向上を図る取組みを支援
- ・ 人材を確保するため、外国人材の受入拡大や魅力的な職場環境の整備等の取組みを強化
- ・ 感染再拡大、新興感染症の発生に備えた医療提供体制の確保

3 未来志向の県づくりの推進

① 県民の安全・安心な暮らしの確保

☆生活利便性向上のためのデジタル技術の活用

子どもから高齢者までデジタルの利便性を享受できるよう、「アナログ」と「デジタル」を柔軟に組み合わせた新たなサービスなどの提供による暮らしの快適性・利便性の向上に向けた取組みを推進

デジタル技術を活用した高齢者の社会参加の維持・拡大



☆県土強靱化、社会インフラ等の整備・更新の推進

流域治水プロジェクトや無電柱化、道路整備等によるハード対策と迅速な災害情報の発信や住民の防災意識向上を図る取組み等のソフト対策が一体となった災害対策及び社会インフラ等に係るデジタル技術を活用した予防保全型メンテナンス等を推進

令和4年8月の大雨で被災した小白川（飯豊町小白川地内）の復旧状況



☆カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの推進

気候変動が加速するなか、県民、事業者、行政などあらゆる主体が環境問題を自分ごととして捉え、カーボンニュートラルに向けたアクションに積極的に取り組んでいくことを推進

② 県民一人ひとりの希望の実現・総活躍の促進

☆結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える総合的な少子化対策の推進

AIマッチングを活用した結婚支援の充実や不妊治療支援の充実、低年齢児の保育環境の整備等、ライフステージに応じた切れ目のない子育て支援を展開

「子育てするなら山形県」（イメージ）



☆若者や女性の志向を踏まえた魅力ある仕事・職場づくり

本社機能の移転や研究開発型企業・IT企業の立地等への支援により、若者や女性にとって魅力的な就業の場の拡大及び県内就業に向けた取組みの推進を図るとともに、様々な角度から賃金向上・働きやすい職場づくりを総合的に推進

☆性別、年齢等に関わらず個性や能力が発揮できる社会の形成

多様性が尊重される社会の実現に向けた県民の理解促進、若者の交流・情報発信の場の創出、あらゆる分野における女性の政策・方針決定過程への参画等を推進

やまがた魅力発信アンバサダー交流会



③ 産業・企業の活性化と未来を見据えた成長力の強化

☆若者が主体となるスタートアップ、ソーシャルビジネスの創出

仮想空間を活用したスタートアップやソーシャルビジネス創出を強力に支援するとともに、若者が集まる場の構築や若者が興味を持つ産業の育成等を促進

ヤマガタリアルメタバース研究所



☆付加価値の高い観光地域づくりの推進、本県の魅力発信の強化等によるインバウンド誘客の促進

国内外の高所得者層に訴求する特別感のある観光コンテンツの造成や観光事業者の基盤強化による受入体制の強化、景観や精神文化などの本県の魅力発信を含む官民一体でのインバウンド誘客の促進

山伏と行く石段詣



☆環境と調和のとれた農林水産業の推進と経営基盤の強化

環境負荷の低減と生産性向上の両立に向け、有機農業やスマート農業の推進を図るとともに、農産物の高付加価値化・販路拡大を推進

④ 地域に活力をもたらす国内外との交流の拡大

☆移住・定住施策の推進、関係人口の創出・拡大

関係人口の創出・拡大により、地域の活力を創生する新たな移住関心層を開拓するとともに、空き家のリノベーションによる移住者向け住宅の充実や良質住宅の形成等により、移住・定住を促進

☆外国人材の受入拡大・定着促進

外国人に対する日本語教育や総合的な生活サポート、受入企業からの相談体制の充実によって、地域の活性化を図るとともに、様々な交流機会を通して地域における多文化共生意識の醸成を促進



在住外国人山形魅力体験バスツアー

☆交通ネットワークの充実強化

山形新幹線「米沢トンネル（仮称）」の整備や高規格道路の整備促進、空港機能の強化など広域交通ネットワークの充実強化を図るとともに、地域間・地域内交通ネットワークも含めたシームレス化（円滑な接続）を促進



山形新幹線E8系（R6年春から導入予定）